



くおんだより4がっくの^{クラスを}

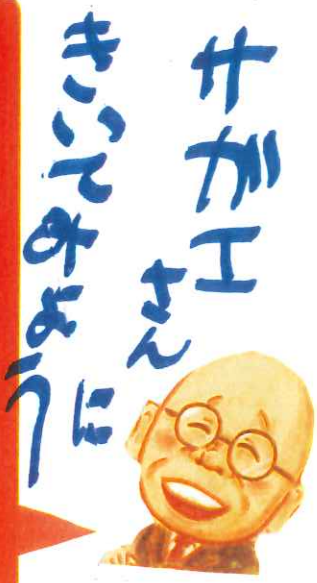
あたらしい年度がはじまりました。まわってみると泣いている子、走り回っている子、ももぐみの1才児さんは、新しい子どもさんはみんなおんぶさせていました。同じ世界を見るから、おんぶはステキです。背中でぐっとそねくり返るのも、大切な意味があります。色々とお手紙を出していきます。今年度どうぞ、よろしくお願いたします。

4月の予定

- 2日(土)入園・進級よろしくね会 キラキラ笑顔がステキでした。
- 12日(火)熊本労災病院の看護実習開始
労災の看護実習園になり26年になります。
自然な子どもの姿が見れるそうです。(火金・1/10まで)
- 23日(土)父母の会総会・お見知りハイキング
〇くわいお手紙を出します。
- 27日(水)誕生会
- 28日(木)御命日。上3クラス、親^{ひんらん}系^{ひょういん}鳥^{ひょういん}聖人の御命日
に、お寺におまいりいたします。
- 右の文は、真宗保育(毎月配ります)の12月発行の
ものです。見た!とかまた!と思われずお返ししません。人間は
おぐ忘れず。もう一度読んで!

聞いていただけますか

ウチは年長の女の子と年少の男の子がいます。子どもたちのことも心配がないわけではないのですが、実は聞いてもらいたいの、連れ合いの働き方、仕事の将来性についてです。ストレスが溜まり不満で衝突することが続いています。真面目な連れ合いですが、近所や友人と比べて収入や将来が心配です。今はいいのですが、子どもも学費がかかるようになり、家のことも今のままでは手狭です。連れ合いに「将来のことを考えて」と言っても、あいまいな返事しか返ってきません。週休も変則ですので、近所や友だちのお家のようにお休みには家族で過ごししたいのです。わたしは、賢いことを言っているでしょうか。



お二人が今抱えた問題を聞かせていただきました。あなたは子育て、家庭生活をちゃんとしたいだけなのに、お連れ合いは今のままでもいいようです。意見や考え方の違いは起きるものだと思います。お二人の立場と考え方の「おりあい」がつくと思います。気になるのは、お二人は意見の違いをお互いに子どもの前でぶつけていることです。経済のこと、家のことだから、子どもたちには話の内容がわからないだろうと考えているようですが、一緒に考えてみたいことがあります。

「おとなの理解」と「子どもの感じる世界」は違います。おとなは「言葉の意味の世界」からお互いの気持ちを理解します。しかし、子どもたちは言葉からの理解ではなく「感じる世界」から理解しています。今日の前で起きていることを子どもたちは懸命に感じ取ります。お母さんとお父さんが互いに不満を感じていれば、「じいちゃん」

「おとなの理解」と「子どもの感じる世界」について

「悲しい」として感じるでしょう。言い争いの内容はわからなくても、子どもたちは衝突している親の「困った関係」を感じているはず。お子さんたちはお二人の顔色を見て喜らせばビクビクして「こころ」を小さくして喜らすことになるかもしれません。「おりあい」をつけることも大事ですが、お二人は子どもたちの「笑顔」を大切にしてください。こんなとき、子どもたちは「いい子」で「健気」に親たちの仲立ちをすることがあります。子どもたちが「こころ」を小さくして過ごすことはつらく悲しいことです。子どもたちの自然な「笑顔」が戻れば、お二人の抱えている問題も消えていることでしょう。

あなたの「笑顔」が子どもたちの「笑顔」をつくり出します。

子どもと大人、そだちあっていきたいです 